※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究（２年）	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究　古文編」「古典探究　漢文編」（数研出版）						
副教材等	「読解をたいせつにする　体系古典文法　九訂版」（数研出版）など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典探究は、古文や漢文を主体的に読み深めることを通して、日本の伝統的な言語文化への理解や関心を深めることを目的とした探究学習の科目です。
・古典の世界はとても豊饒な世界です。そこには遠い昔の作品でありながらも同じ日本語によって表現された世界が広がっています。そのような古典を深く読むことによって、長い時間を飛び越えてそこに暮らした多くの人々の文化や生活、そして意識や考え方を、厚みを持って感じることができます。
・そうした豊かな経験をするためには、古典を正しく読む力が不可欠です。学習者のみなさんは、１年次の基礎事項をしっかりと定着させるとともに、新たな知識・技能も身に付けていってください。
・学習の基本は授業です。しかしその授業を実りあるものにするためには予習・復習が不可欠です。ただ漫然と授業を受けるのではなく、授業を実りあるものにするために自分が取り組むべきことは何か、を常に考えて学習に取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

（1）古典を読んで思想や感情を的確にとらえ、作品の価値について考察し、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（2）古典に親しむことによって、先人の考えに触れ、ものの見方、感じ方、考え方を広くするとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようする。
（3）伝統的な言語文化に対して広くかつ深い関心を持ち、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・日記文学に描かれた情景を読み取り、人物の言動や状況を理解する。 ［教材］ 『更級日記』 「東路の道の果て」 「物語」	a：読解に必要な語句や文語のきまり、作品の成立した背景について理解している。 b[読]：日記文学の文体の特徴や当時の暮らしを踏まえて、描かれた情景を読み取り、人物の言動や状況を正確に理解できる。 c：日記文学に描かれている情景を、語句や文から離れないように読み取り、人物の言動や状況を理解しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・書き手の考えを的確に捉える。 ［教材］ 『枕草子』 「すさまじきもの」 「二月つごもりごろに」	a：本文中の語句の意味や用法を理解し、読解に必要な語彙を増やすとともに、宮廷文化について理解している。 b[読]：語句の理解を踏まえて人物関係や内容を読み取り、書き手の立場や執筆意図を踏まえて書き手の考えを的確に捉えている。 c：語句の意味や用法および宮廷文化についての理解を深め、書き手の考えを捉えたり自らのものの見方を広げたりしようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・中国の怪異小説や故事の面白さをつかむ。 ［教材］ 「画竜点睛」 「売鬼」 「人面桃花」	a：中国文学における怪異小説や故事の特徴を理解するとともに、文語のきまりや訓読のきまりについて理解し、身に付けている。 b[読]：漢文訓読のリズムに慣れ親しみつつ、文意を的確につかもうと読み進めている。 c：文語や訓読のきまりについての理解をもとにしながら、文意を的確につかもうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・漢詩の表現の特色についての理解を深め、漢詩を味わう。 ［教材］ 「鹿柴」 「江南春」 「澄邁駅通潮閣」 「寄李儋・元錫」 「題野古島僧房壁」	a：漢詩の構成や展開の仕方、言葉の響きなどの特色について理解を深めるとともに、中国文学と日本文学との関係について理解する。 b[読]：漢詩の表現の特色を踏まえて、漢詩の内容をつかむとともに、中国文化と日本文化の関係について考えを広げる。 c：漢詩の表現について理解を深め、漢詩の内容を深く理解しようとするとともに、中国文化と日本文化との関係についての考えを広げようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
2学期	・歴史物語の特徴を踏まえて、書かれている内容を的確に解釈することができる。 ［教材］『大鏡』 「花山天皇の出家」 「道長の豪胆」 「南院の競射」	a：読解の上で必要な語句の意味や敬語の用法について理解を深めるとともに、歴史物語の特徴や他の作品との関連を理解している。 b[読]：歴史物語の構成や展開を的確に捉え、内容を正しく解釈している。 c：描かれている情景や心情の推移などについて、物語の展開を確かめるとともに他の作品との関連から内容理解を深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
2学期	・軍記物特有の表現を味わいながら、描かれている考え方を捉えて、自らの考えを広げる。	a：語句の意味や用法に関する知識を増やすとともに、軍記物独特の表現や言葉の変化に対する理解を深める。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 『平家物語』 「能登殿の最期」	b[読]:構成や展開を的確に捉え、描かれている考え方や感じ方を理解するとともに、自らの考えを広げ、深める。 c:古典世界に描かれるものの見方・感じ方を理解し、自らの考えを広げ、深めようとしている。			
	・中国の史伝の表現を味わいながら読み、展開を的確につかむ。 ［教材］ 『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」 「項王自刎」	a:漢文の句法や語法の知識を深めるとともに、司馬遷の文体の特徴や文章の構成、展開について理解を深めている。 b[読]:漢文のリズムや表現を味わいながら、展開や人物の心情を理解し、考えを深めている。 c:漢文の句法や語法の知識を深めつつ、漢文特有のリズムや表現を味わいながら展開をつかもうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
3学期	・表現や展開をとらえて、書き手の表現意図や効果を考える。 ［教材］ 『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「北山の垣間見」 「物の怪の出現」	a:重要表現を理解し、読解に必要な語彙を増やしながら語感を磨くとともに、作品の成立した背景を理解している。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品との関連を踏まえ、書き手の表現意図や表現の効果について考察することができる。 c:作品の成立した背景などを踏まえて解釈を深めたり、表現の特色について理解したりしようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・物語における文と和歌の関係を踏まえて、内容をつかむ。 ［教材］ 『蜻蛉日記』 「うつろひたる菊」	a:本文中の語句の意味や用法を理解し、読解に必要な語彙を増やしており、和歌の修辞の特徴を理解している。 b[読]:物語における文と和歌との関係を理解し、人物関係や展開を的確にとらえている。 c:語句の意味や用法をおさえながら、人物関係や展開を的確にとらえようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・中国思想の文章を読み、その内容を的確に解釈するとともにものの見方、考え方を豊かにする。 ［教材］ 『論語』「道徳斉礼」 『孟子』「不忍人之心」「性善」 『荀子』「性悪」 『老子』「無用之用」 『荘子』「曳尾於塗中」	a:漢文の文章の組み立てや骨組みに対する理解を深めている。 b[読]:思想の文章の論理展開を的確に捉えて解釈するとともに、自らのものの見方考え方を深め、広げている。 c:中国思想の文章への理解を通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　――　　）時間

・書くこと　…　（　　――　　）時間

・読むこと　…　（　　１０５　　）時間